

miratap

壁面下足収納

シュールーム

組立設置説明書 05-SRM01S-04

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

 **禁止**  **実行**  **注意**

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。



キャビネットの設置は、建築壁の構造・下地を確かめて組立設置説明書どおり正しく行ってください。
落下してケガをする恐れがあります。



注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。
棚板が落下し、ケガをするおそれがあります。



扉などの調整時には、必ず作業用手袋を着用してください。
ケガをするおそれがあります。



組立設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



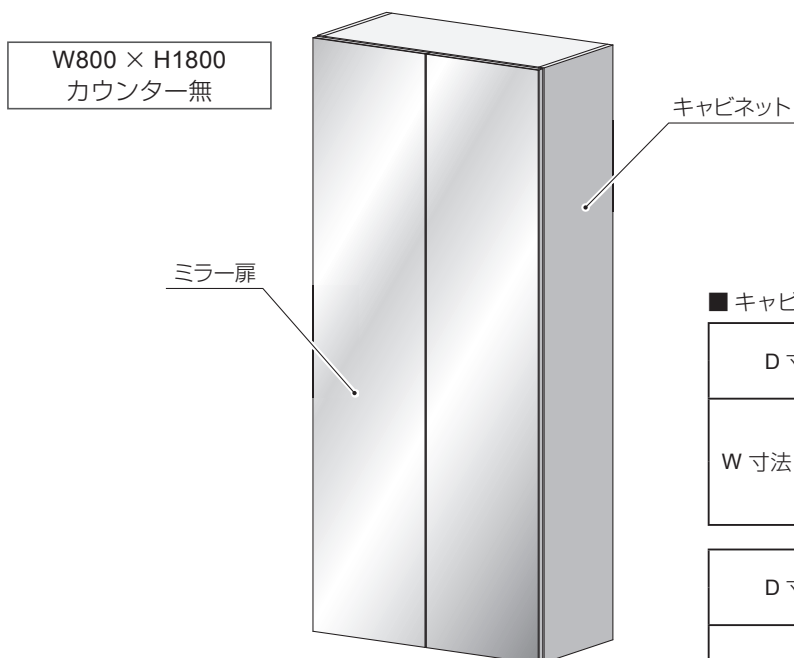
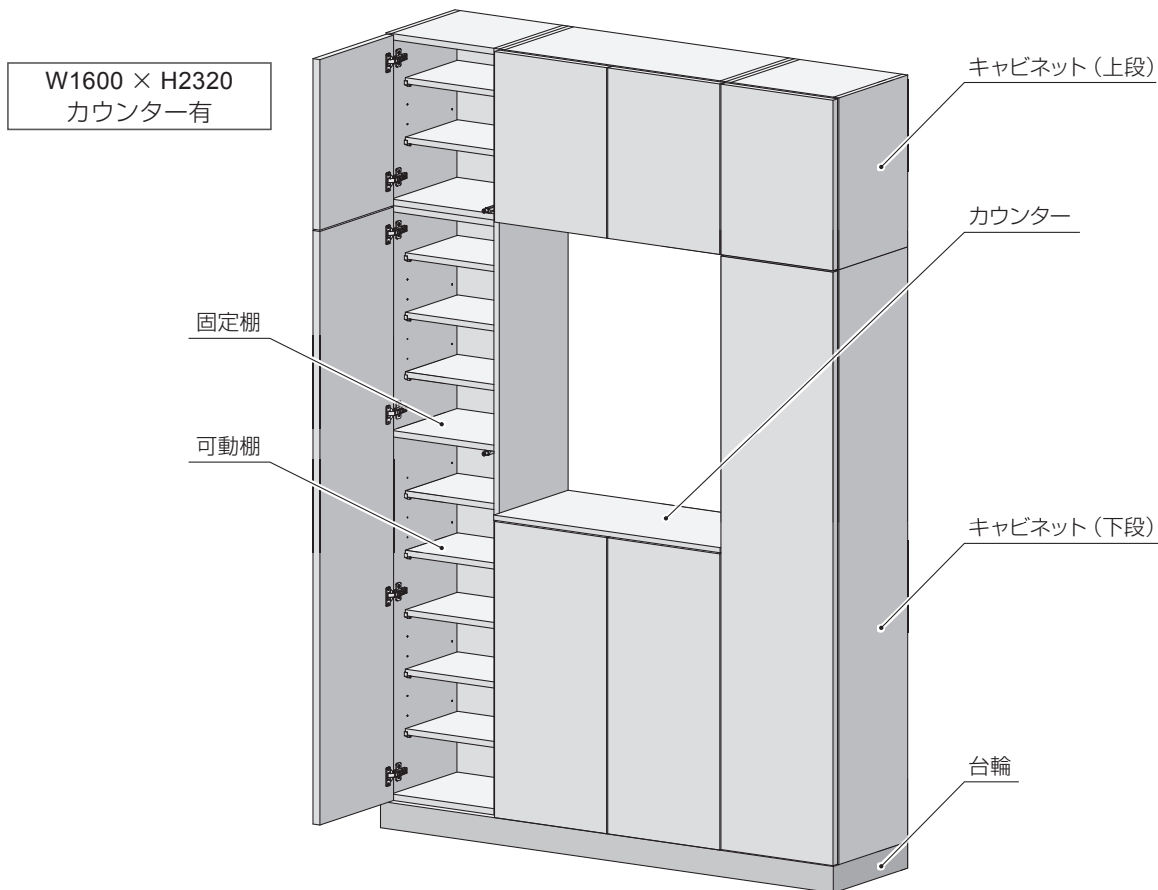
玄関の土間や水回りなど、水に浸かる可能性がある床面には台輪を設置しないでください。
台輪のふくれや腐食につながります。



設置の仕上げに使用する溶剤・その他薬品類は、各注意表示に従って正しくお使いください。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になることがあります。

1 各部の名称

◎ シュールーム



■ 耐荷重

耐荷重については、下記の重量をお守りください。
 ・棚板 (底板) 1 枚につき：4kg まで

■ キャビネットの総重量 (kg)

D 寸法 350mm		H 寸法 (mm)		
		520	900	1800
W 寸法 (mm)	400	15.7 (17.7)	25.2 (29.2)	42.5 (50)
	800	26.5 (32.3)	42.6 (51.9)	68 (81.4)

D 寸法 400mm		H 寸法 (mm)		
		520	900	1800
W 寸法 (mm)	400	17.2 (19.7)	30.4 (34.4)	45.9 (53.4)
	800	28.9 (34.7)	46.9 (56.2)	75.7 (89.1)

※ 上記の重量は、キャビネット・扉・付属棚板の総重量です。

※ () 内は、ミラー扉を取付けた際の重量です。

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず2人以上で手運びにて行ってください。
※ 車上渡しとなります。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、養生材などで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

《設置前の確認》

以下の項目が図面どおりか確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- ベースキャビネットがオープンタイプの場合は、事前に床仕上げがされていることを確認してください。
- 窓枠や建具の位置および寸法
- 取付用下地の位置および寸法(桟木 45mm × 100mm 以上の強度のある硬い木材または 12mm 以上の合板)
※ プラスターボード裏に取付下地が入る場合は、12.5mm 以下のプラスターボードをご使用ください。

《キャビネットの上下》

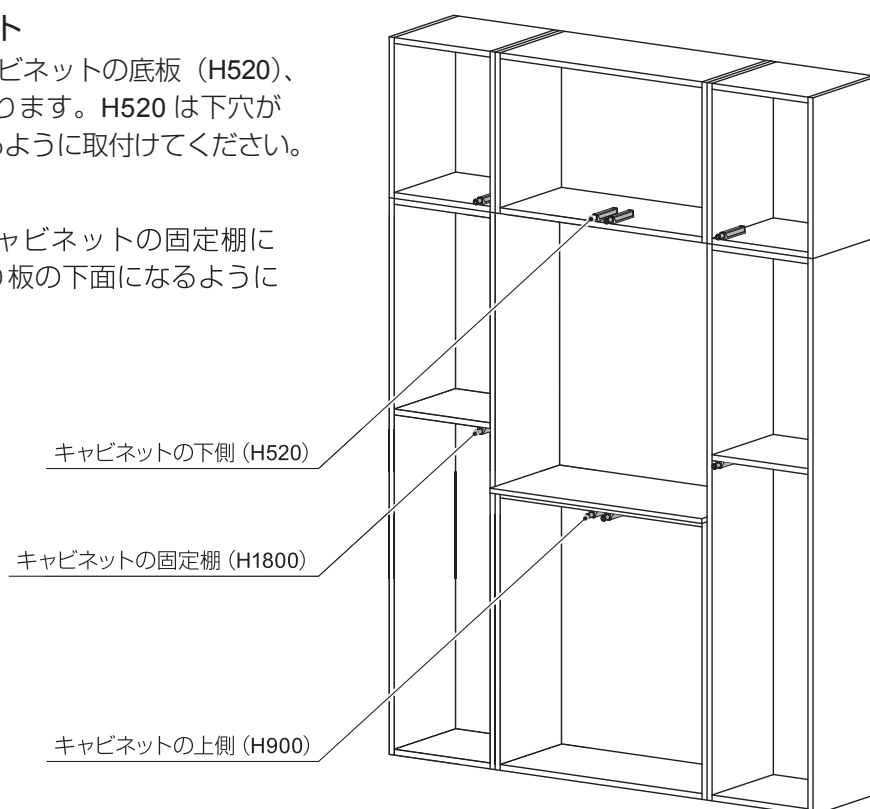
本製品は、キャビネットに上下があります。製品取付けの際、キャビネットの上下が正しくなるよう、必ず注意して取付けてください。

● H520、H900 のキャビネット

プッシュラッチの下穴は、キャビネットの底板 (H520)、天板 (H900) 部分についております。H520 は下穴が下側、H900 は下穴が上側になるように取付けてください。

● H1800 のキャビネット

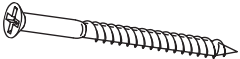


プッシュラッチの下穴は、キャビネットの固定棚についております。下穴が仕切り板の下面になるように取付けてください。





《使用ネジの確認》

キャビネットの固定・連結は同梱されているネジを使用し、ネジは用途によって種類があります。

〈使用ネジ・金物の種類〉

種類	用途
皿木ネジ $\phi 4.5 \times 56$ 	壁面への固定
皿タッピングネジ $\phi 4 \times 30$ 	キャビネットの連結 カウンターの固定
細軸コーススレッド L40 	台輪の固定 (台輪に同梱)

ワッシャー 

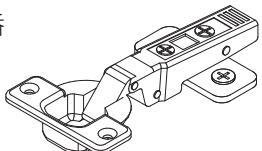
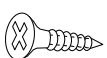
ネジキャップ 

〈使用ネジ・金物の数量〉

キャビネットサイズ (D寸法は共通)	皿木ネジ $\phi 4.5 \times 56$	皿タッピングネジ $\phi 4 \times 30$	ワッシャー	ネジキャップ
W400 × H520	8本	8本	16個	16個
W400 × H900				
W400 × H1800				
W800 × H520	16本	16本	32個	32個
W800 × H900				
W800 × H1800				

※ 取付けキャビネットにより、ネジが余る場合があります。



《使用丁番の確認》

キャビネットサイズ (D寸法は共通)	丁番 	丁番取付ネジ $\phi 3.5 \times 17$ 
H520	2個	4本
H900	3個	6本
H1800	4個	8本

※ 座金はキャビネットに取付済みです。

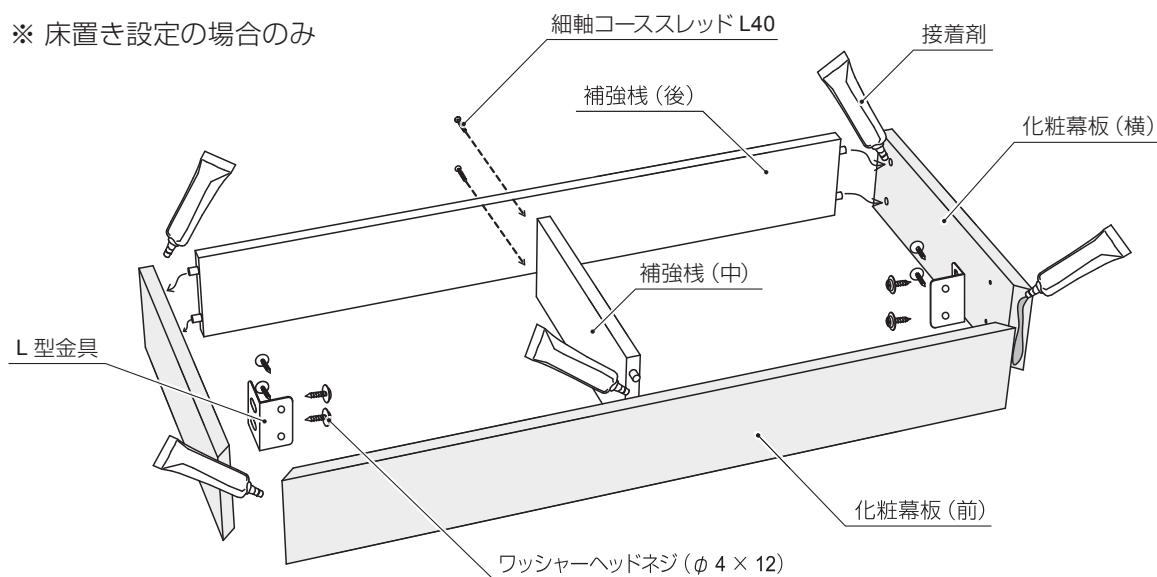
※ 扉1枚の数量です。(W400：扉1枚／W800：扉2枚)

《その他の同梱物の確認》



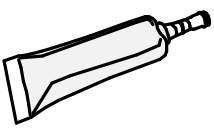



プッシュラッチ受座 	受座取付ネジ $\phi 3.5 \times 15$ 
扉1枚につきプッシュラッチ受座・受座取付ネジが1つ同梱されます。	

《台輪の同梱物の確認》

※ 床置き設定の場合のみ



※ イラストは W800 です。

		数 量		
		W800	W1200	W1600 / W2000
同 梱 部 材	化粧幕板 (前)	1 枚	1 枚	1 枚
	化粧幕板 (横)	2 枚	2 枚	2 枚
	補強棧 (後)	1 枚	1 枚	1 枚
	補強棧 (中)	1 枚	2 枚	2 枚
同 梱 金 物	L 型金具 	2 個	2 個	2 個
	ワッシャーヘッドネジ (φ4×12) 	8 本	8 本	8 本
	接着剤 	1 個	1 個	1 個
	細軸コーススレッド L40 	8 本	16 本	24 本
	ワッシャー 	6 個	12 個	18 個
	ネジキャップ 	6 個	12 個	18 個

3 設置手順

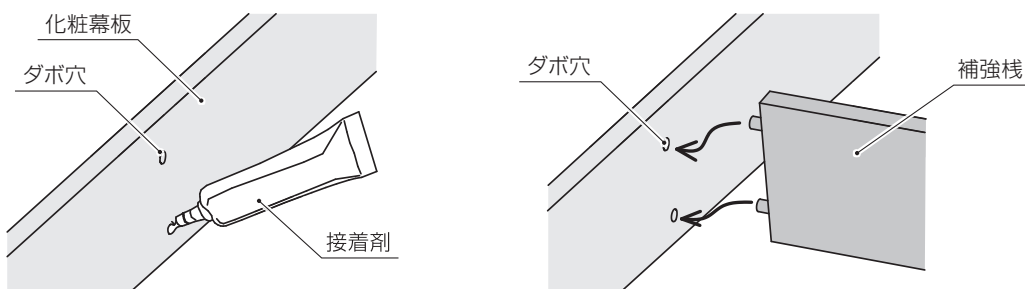


- 取付け時には扉を外して作業を行ってください。また扉に汚れやキズが付かないよう養生をして保管してください。(ミラー扉の場合、扉側面のミラー木口が剥き出しのため、必ず養生を行ってください)
- ネジ固定は、締めすぎによる空まわりをしないようにしてください。

■ 台輪の施工方法

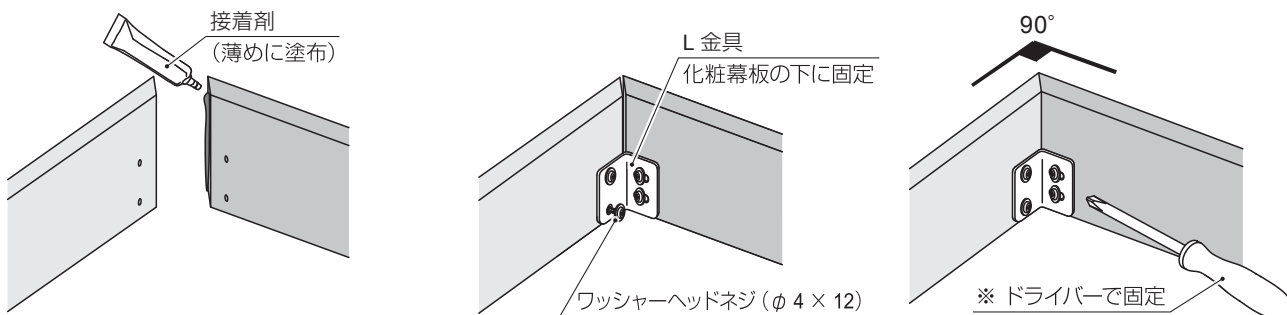
《化粧幕板と補強棧の結合 (ダボ結合)》

化粧幕板側にあるダボ穴に接着剤を注入し、補強棧側のダボを強く差し込んでください。



《留め部の固定》

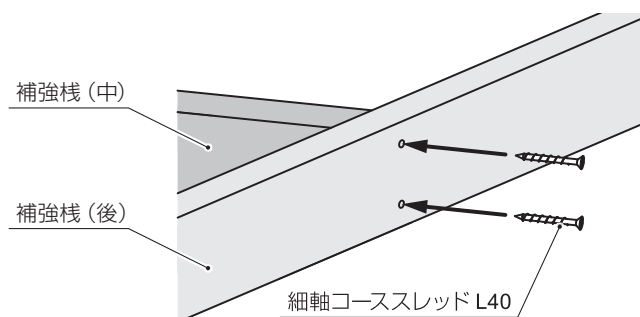
- ① 化粧幕板の留め部分に接着剤を薄めに塗ってください。
- ② 化粧幕板にL金具をワッシャーヘッドネジ (φ 4 × 12) で軽く固定してください。
- ③ 幕板の留め部分をあわせ、直角になるよう調整しながらL金具のワッシャーヘッドネジ (φ 4 × 12) を締め固定してください。



- ネジの固定は必ず電動ドライバー、又は手まわしのドライバーを使用してください。(インパクトドライバーは使用しないでください)
- 接着剤がはみ出した場合は速やかに拭き取ってください。

《補強棧の固定》

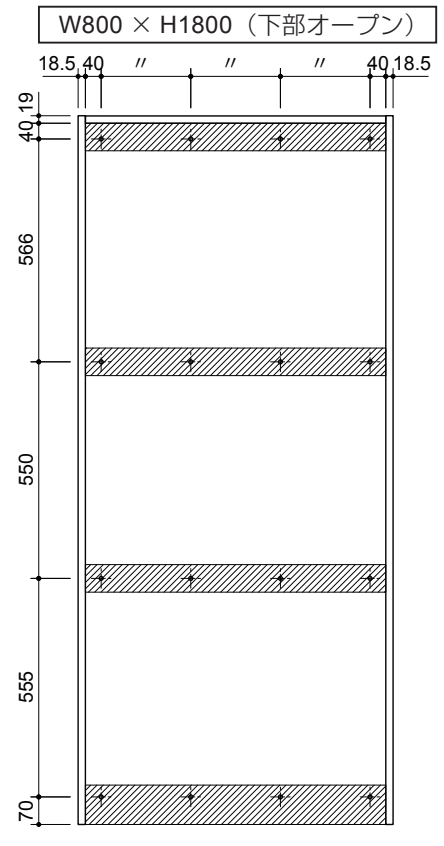
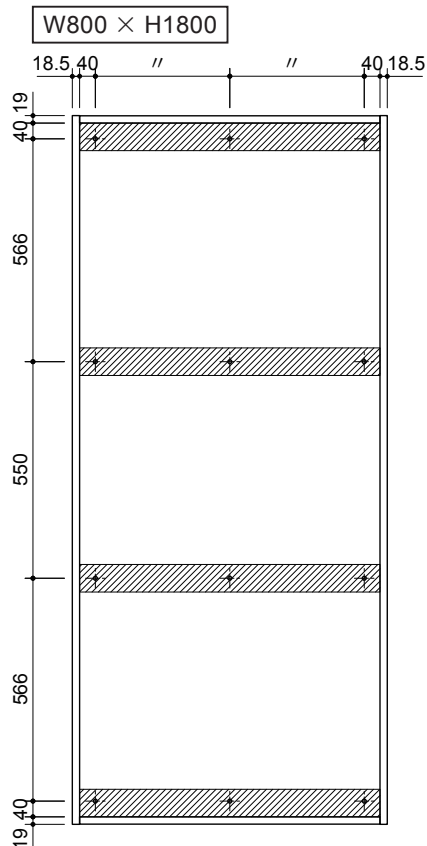
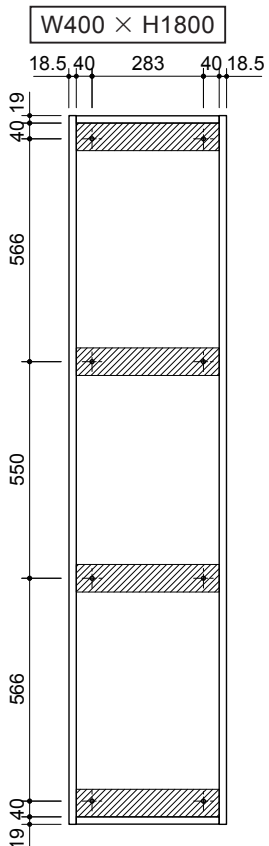
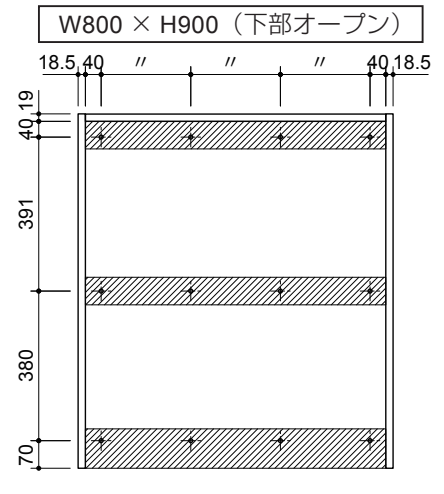
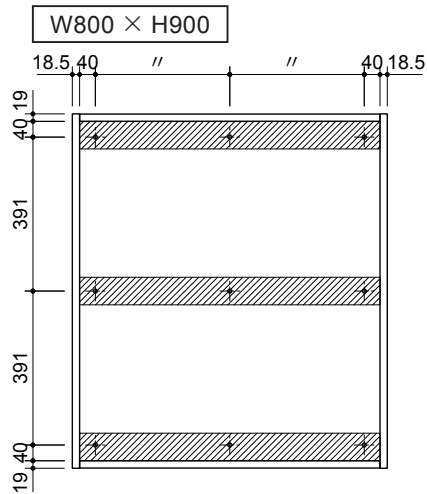
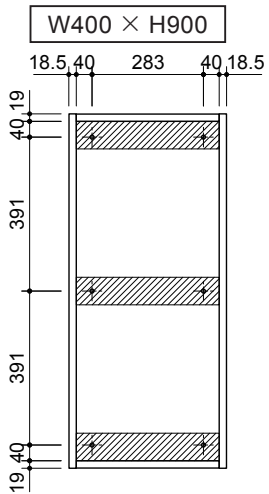
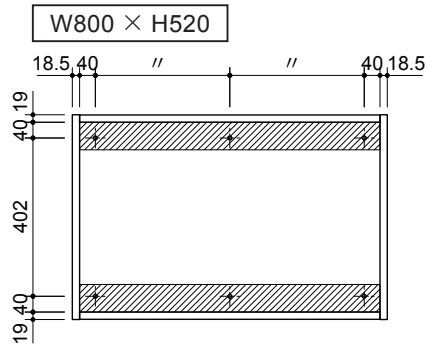
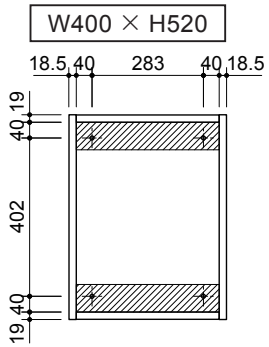
補強棧 (後) と補強棧 (中) を細軸コーススレッド L40 で固定してください。



■ キャビネット下穴位置一覧

使用ネジ：皿木ネジ $\phi 4.5 \times 56$

※ 下穴位置（背板）



■ キャビネットの設置



- 電動ドライバー、インパクトドライバーは使用しないでください。
- ネジを使用する際は連結ワッシャーとネジキャップを必ず使用してください。
(連結ワッシャーを使用しないで固定した場合、ネジが突き抜ける可能性があります)
- ネジを取付ける際は、指示した場所に必ず下穴をあけ、ネジを取付けてください。

1. キャビネットの設置【床置きの場合】

《台輪の組み立て・設置方法》

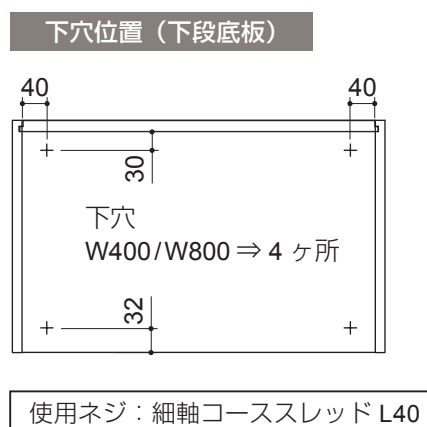
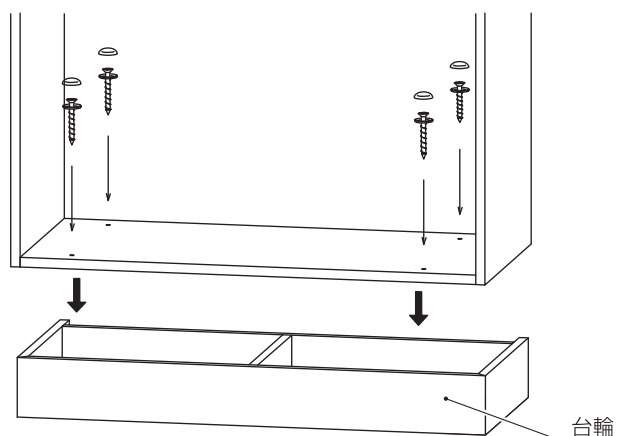
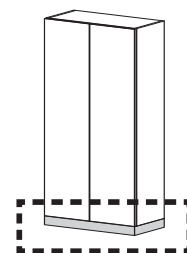
① 台輪用下穴加工

台輪を設置し、ツールキャビネットを上に乗せ、台輪取付用の下穴 (φ 3mm) を開けてください。

② 台輪との連結

台輪の位置決めが出来たら、台輪に付属している細軸コーススレッド (L40) を使用し、キャビネットと台輪を固定してください。

※ 固定にはワッシャーとネジキャップを必ず使用してください。



《床置きタイプキャビネットの設置方法》

① 壁面固定用下穴加工・固定

キャビネットの背板に壁固定用ネジの下穴 (φ 4 ~ 4.5mm) を開けてください。必ず下穴の位置に背板の芯材があることを確認をしてください。(プッシュラッチの位置に注意して取付けてください)

※ 下穴位置はキャビネット下穴位置一覧 (P9) をご確認ください。

2. キャビネットの設置【フロートの場合】

《フロートタイプの設置方法》

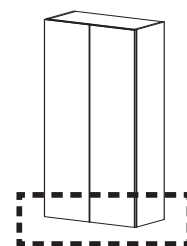
① 取付用墨出し

仕上がり床面を基準に、キャビネットの下端 (または上端) の位置に墨出します。

② 壁面固定用下穴加工・固定

キャビネットの背板に壁固定用ネジの下穴 (φ 4 ~ 4.5mm) を開けてください。必ず下穴の位置に背板の芯材があることを確認してください。(プッシュラッチの位置に注意して取付けてください)

※ 下穴位置はキャビネット下穴位置一覧 (P9) をご確認ください。



3. 上段キャビネットの設置【床置き・フロート共通】

① 壁面固定用下穴加工・固定

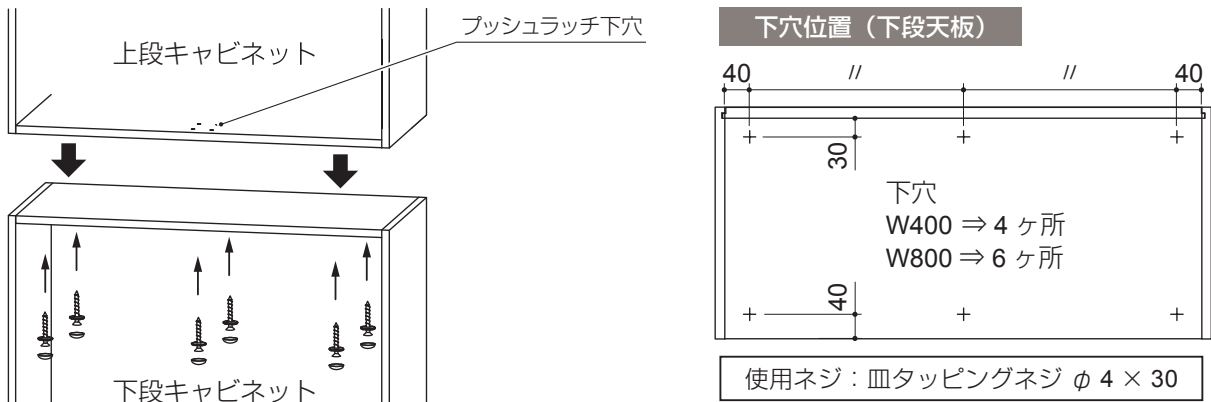
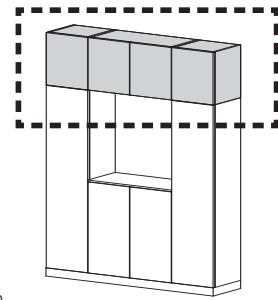
キャビネットの背板に壁固定用ネジの下穴（ $\phi 4 \sim 4.5\text{mm}$ ）を開けてください。必ず下穴の位置に背板の芯材があることを確認してください。

② 上段キャビネットの連結

※ 下段キャビネットと上段キャビネットが接している場合

下段キャビネットの天板に連結用ネジの下穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。上段キャビネットを、下段キャビネットの天板からネジで連結してください。

※ 連結にはワッシャーとネジキャップを必ず使用してください。



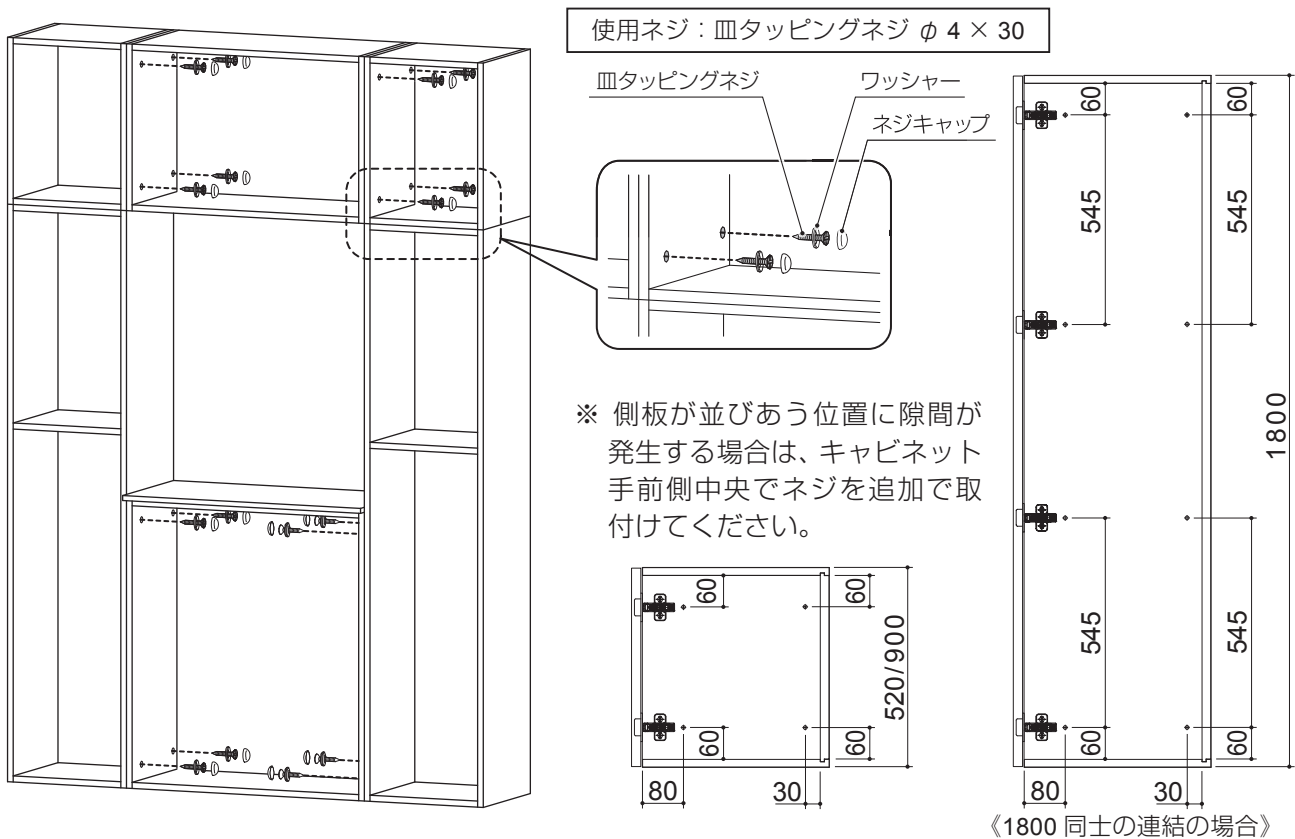
現場状況に応じてキャビネットと天井とのクリアランスを確保してください。

4. キャビネットの連結

片側のキャビネット側板に下穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開け、ネジにてキャビネット同士を連結してください。

※ 高さの違うキャビネット同士を連結する場合は、高さの低いキャビネットから連結してください。

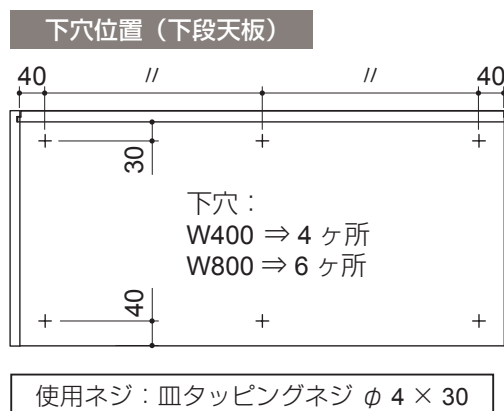
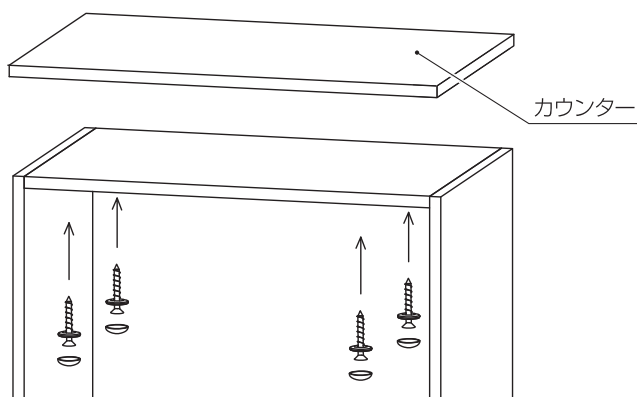
※ 連結にはワッシャーとネジキャップを必ず使用してください。



5. カウンターの取付け

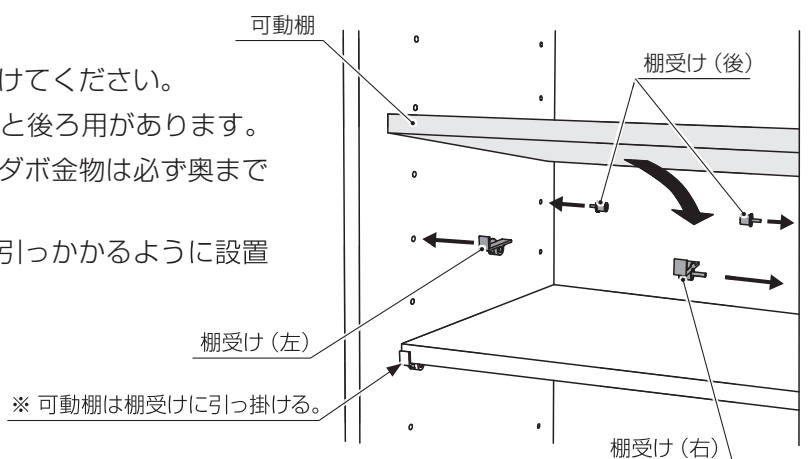
下キャビネット天板に下穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）をあけ、カウンターを取付けてください。

※ 固定にはワッシャーとネジキャップを必ず使用してください。



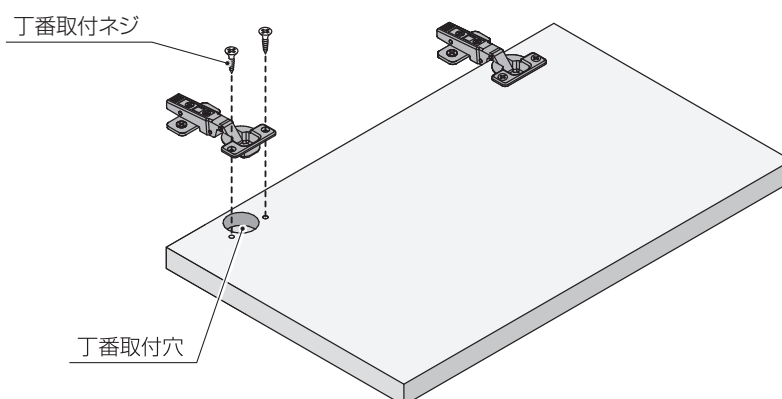
6. 棚板の取付け

- 側板のダボ穴に棚受けを取付けてください。
※ 棚受けは手前用（右・左）と後ろ用があります。
- 棚板の脱落防止を防ぐため、ダボ金物は必ず奥まで差し込んでください。
- 可動棚は前ダボの返し部分に引っかかるように設置してください。



7. 扉への丁番の取付け

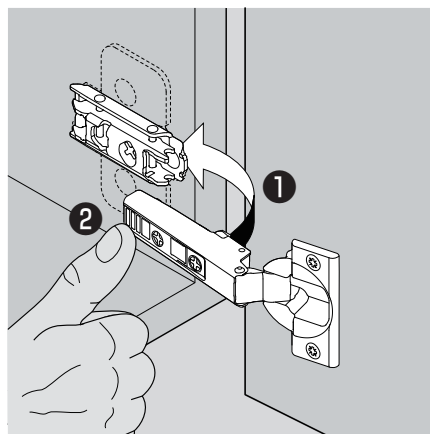
- 扉裏面に空いている、丁番取付穴に丁番を合わせます。
- 丁番の取付穴に丁番取付ネジ $\phi 3.5 \times 17$ にて 2ヶ所ずつ固定してください。



ネジの固定は必ず手まわしのドライバーを使用してください。

8. キャビネットへの扉の取付け

- ①キャビネットの側板についている受け座の凹み部分に丁番をはめ込みます。
- ②丁番の先端部分を押し込んで取付けてください。

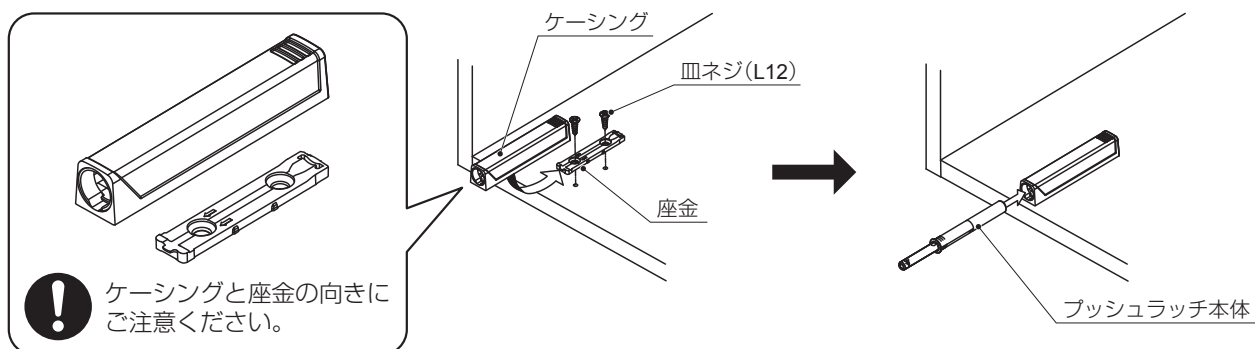


必ず、カチッと音がするまで押し込んでください。(押し込めていないと扉が脱落するおそれがあります)

9. プッシュラッチの取付け

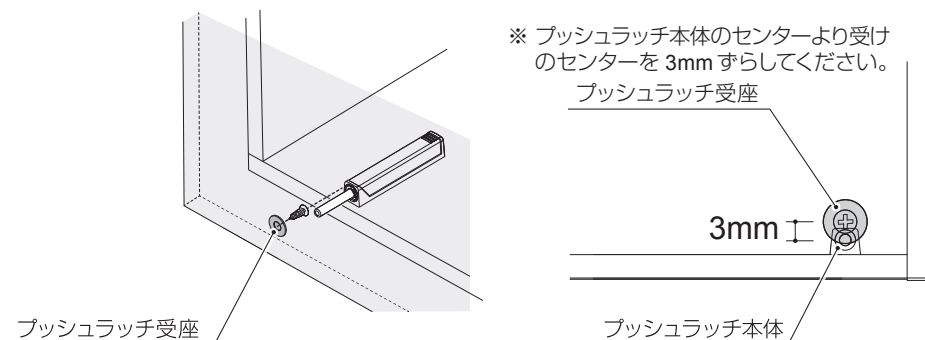
① プッシュラッチの取付け

各キャビネットにあるプッシュラッチ用取付穴に対して、プッシュラッチに同梱されている皿ネジ (L12) にて座金を取付けてください。その後、ケーシング本体を取付けてください。



② 受け座の取付け

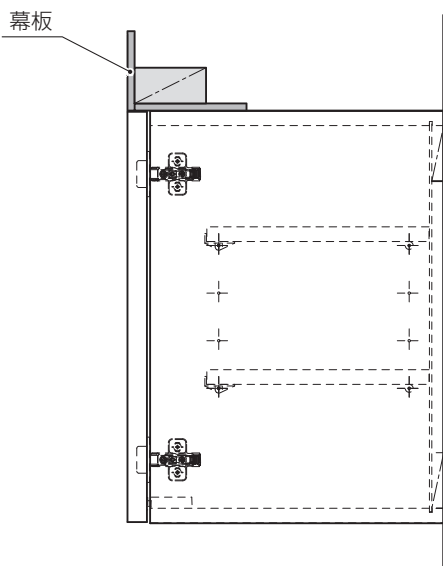
プッシュラッチの受座を扉裏面に下穴 (φ 2.5) を開け取付けてください。受座の取付け下穴は、プッシュラッチ本体のセンターから 3mm ずらした所となり、プレート取付けネジが直接プッシュラッチ本体にあたらないようにしてください。



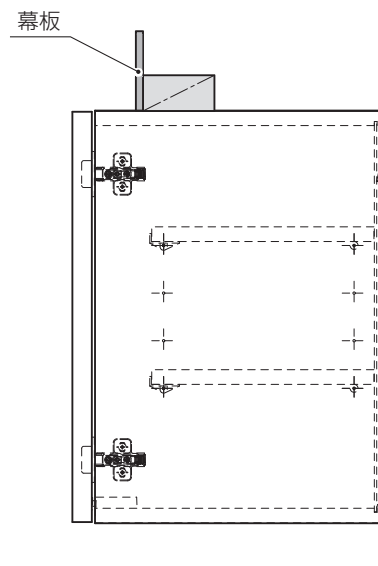
10. 幕板の取付け

幕板（オプション品）は必要に応じてカットして取付けてください。

《取付参考図》



- キャビネット扉と同ツラに幕板を設置する場合



- キャビネット扉より奥に幕板を設置する場合

4 設置後の調整・確認

《設置後の確認》

● 設置状況の再確認

- 設置完了後は、本体のがたつき・扉のがたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。
- 棚板・扉・カウンター・台輪が確実に取付けられていることを確認してください。
- プッシュラッチを確実に取付け、機能する事を確認してください。

《各部の調整》

● 設置後のクリーニング

- キャビネットや扉のホコリ・汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。
- 調整が必要な場合は、取扱説明書「各部の調整」の要領で調整してください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

